

# 艦娘 参



DOJIN  
R18  
成人向け  
▲18歳未満の  
購入・閲覧禁止

あーそんなわけで  
ドイツからの二人目の  
艦娘だ

よろしくしてやってくれ

グーテンターク

わたしは駆逐艦  
マックスシユルツよ

よろしく

着任初日——  
ヤパン  
提督から日本の  
艦娘たちと顔合わせ

おーまたドイツ

提督  
ビスマルク出すとか  
言ってなかった？

ほら資源が……

ああ……

今ドイツ語  
しゃべった？

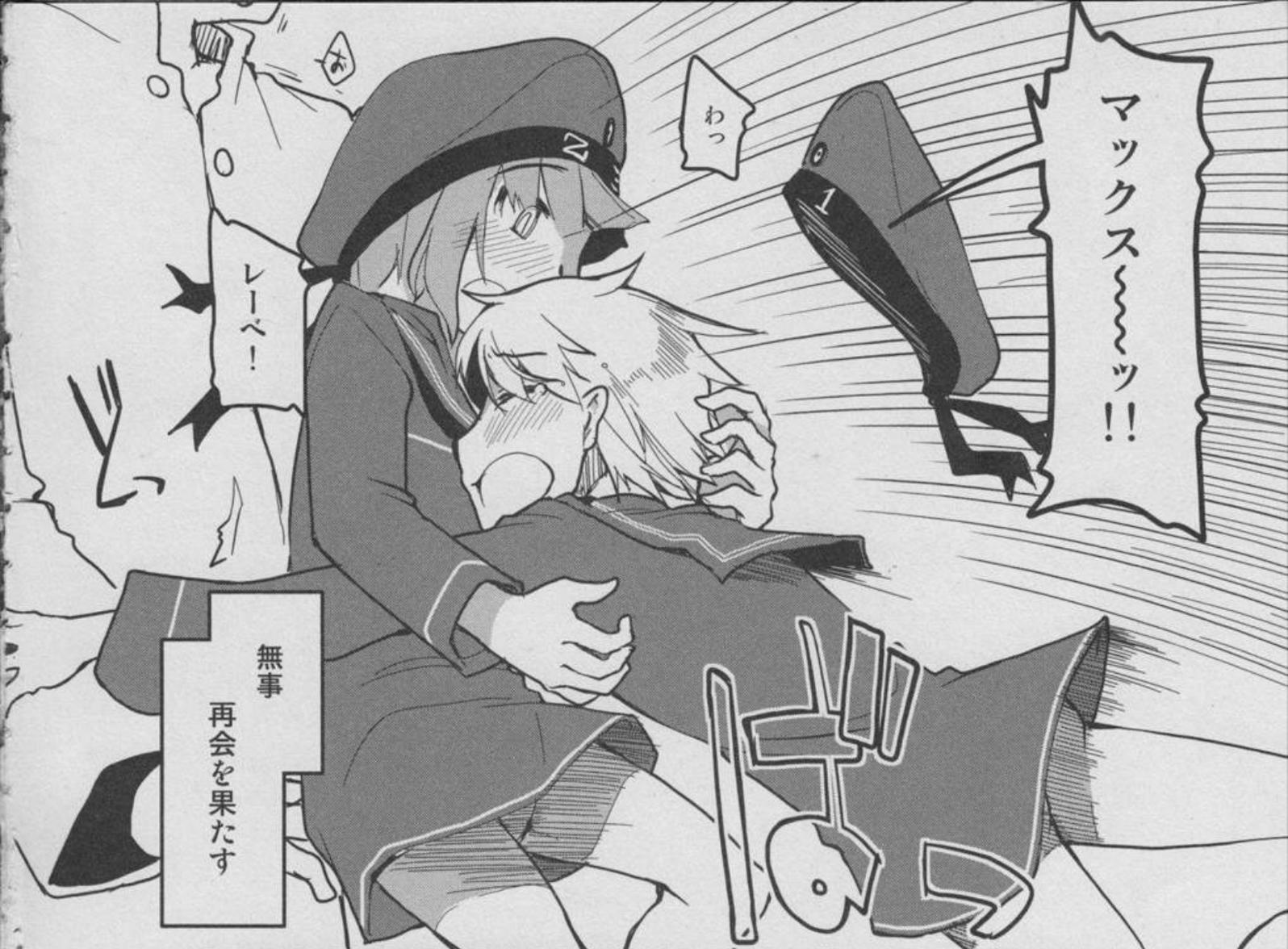
そりゃ  
そうでしょ

レーベって  
ドイツ語しゃべって  
たっけ？

マ……

マックス……

先に着任していた  
レーベとも——



無事  
再会を果たす



泣くか笑うか  
はつきりしなさい

会いたかったよ  
マックスく〜  
そ...そう...



私達はここでは  
ドイツ艦の代表なのよ

うん...

ほらしっかりしなさい



まったく...





また明日

レーベ

しかし——



レーベはずっと  
こんな調子だった…

今回の海戦に  
不参加…

夜戦  
参加!?



特に過酷な任務を  
していたわけではない  
ようだったが——



ほぼ毎日…

夜中に部屋を出て  
どこかに行っていることに  
気付く

トイレ…か…?



ナキヤ...  
ソレ...

そんなある夜――

また今日も...

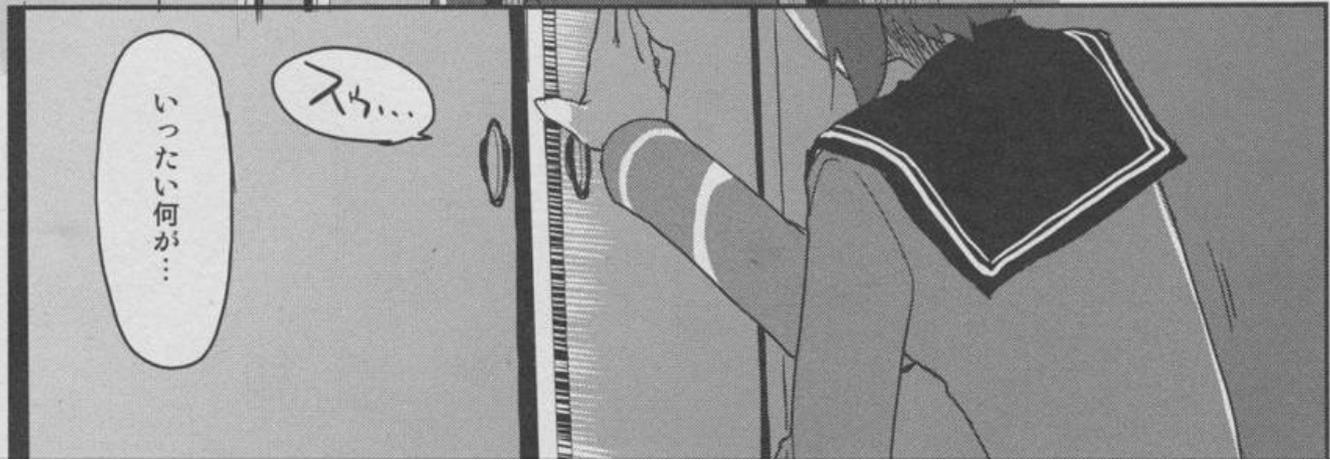


どうしても気になった  
私はレーベの跡を  
つけてしまった――

こしは.....

こんばんは――

船渠...？



ズク...

いったい何が...



何をやって...  
いるの...!?

なっ...!?



な…なんで  
こんな異常な中で  
レーベは……っ

あんなに普通に…  
しているの…!?

ま…まさかレーベは  
毎夜こんな所に…

あっ



カキッ



ヤーバンには性におおらかとは聞いていたけど…

な…なんだったの…あれは…



いやそれよりレーベよ…私がない間にヤーバンの風習に染まってしまったのかしら…

いや…まだ…分からない…

見極める必要がありそうね…



レーベ…

うう…

はあ…

次の日――

レ……レーベ……

うん？  
なあに  
マックス？

あ……あの……

その……昨日……

夜中……

ど……ど……

行……行……

かな……って……

えっ

うん  
え……ええと

ちよつと……寝付けなくて……  
夜風に当たってたんだ……

レーベが私に  
嘘をついた



はあ…レーベ…

本国のみんなは  
元気かな…

ホームシック  
ですか？  
マックスさん

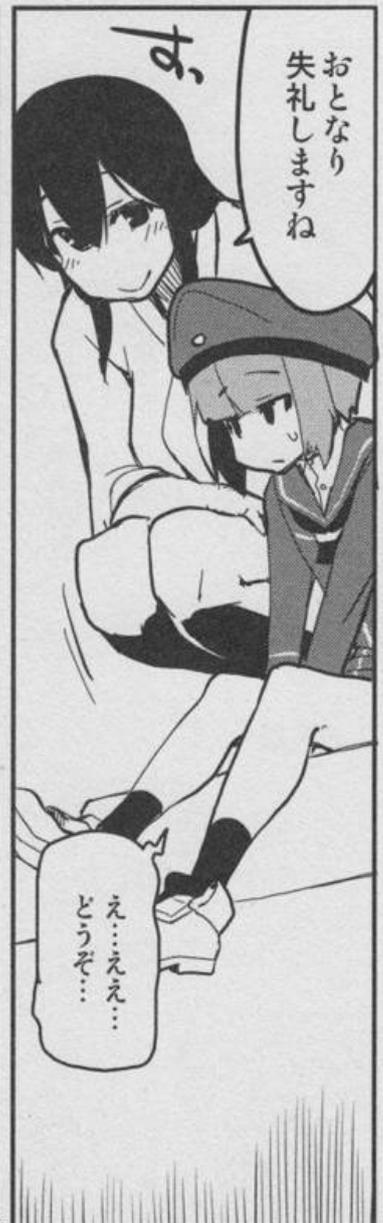
アカギ…

それとも  
レーベのこと…  
かしら？



レーベもね  
着任当時はあまり  
話をしてくれ  
なかったんですよ？

自分はよそ者だから  
なんて思ってた  
みたいですけど



おとなり  
失礼しますね

え…ええ…  
どうぞ…



マックスさんもいつか  
ここを第二の故郷だと  
思ってもらえると  
嬉しいんですけど…

ちか…

今の話…

何がレーベを  
変えたのかしら？

そうですね…

はい

…アカギ  
ひとつ…いいかしら…

“自分の気持ちに  
素直になったこと”

…ですかね？

ッ…  
そう…

ありがとう…

たしかに…  
昔からこの鎮守府に  
いたかのように…

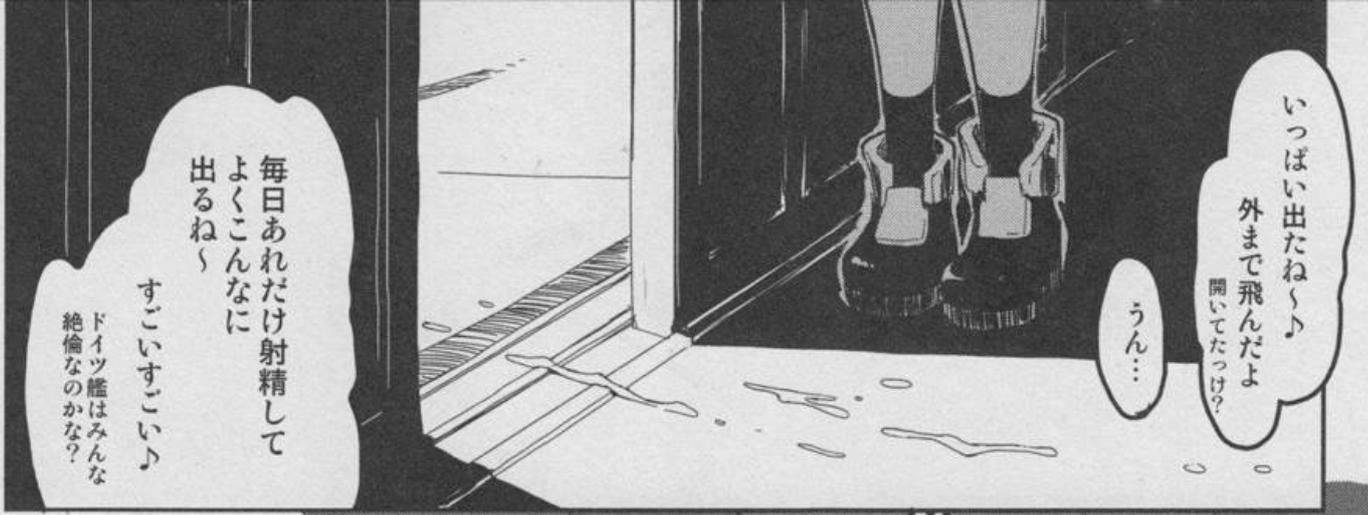
レーベはこの皆と  
打ち解けている…

グーテンアーベント♪

そして—





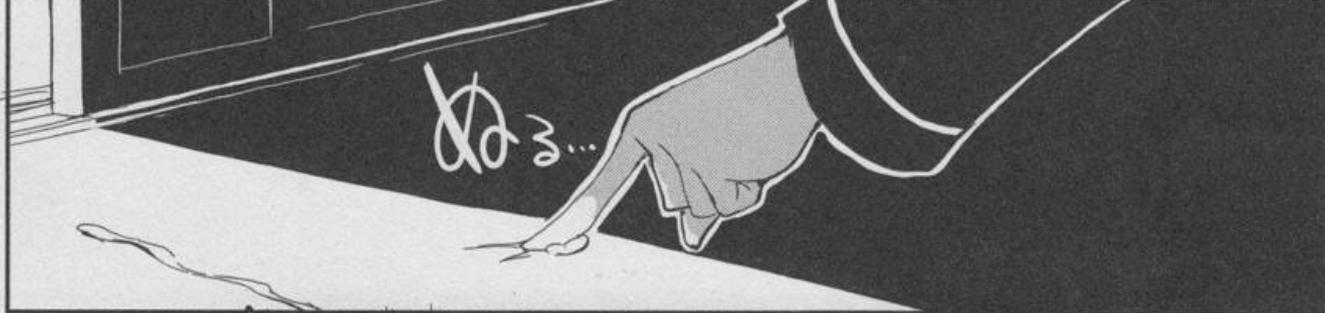


いっぱい出たね〜  
外まで飛んだよ  
開いてたっけ?

うん…

毎日あれだけ射精して  
よくこんなに  
出るね〜  
すごいすごい  
ドイツ艦はみんな  
絶倫なのかな?

……



これが…レーベの…  
ザーメン…

おいしいよ…  
レーベ…

うわあ  
!?

な…なにやってるの…!?

センダイ!

レーベの…  
おし…りに!?



レーベ!  
気持ちいい!?

うん♥  
おしりっ  
気持ちいいッッ  
ですっ

あんなものを  
挿入れられて…  
よろこんでいるの?



レ...レーベのおしり...  
柔らかくて...きつくて...

こんなに  
気持ち...良かったんだ...

おしり...

次はモガミ...

あんな太いものも  
易々と...

レーベ...

みんな?

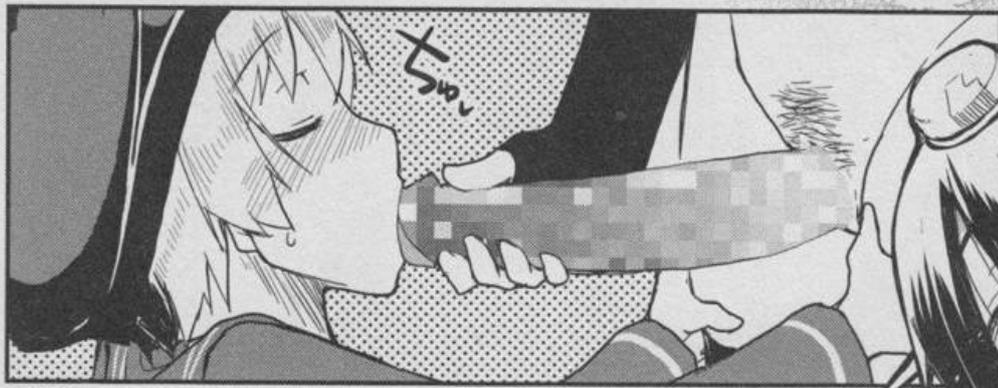
み...みんなが...  
夢中になるのも...

納得...だよお...

何なの...

コレえ...!!





笑ってるの...?

レーベ...



だ...だめだっ

イクツ  
イクぞレーベツツ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ  
クワッ

イク

イクツ

イク  
イクツ

!!



ええ  
レーベは  
マックスさんのこと  
どう思ってるのかなって

は!?

マッ…マックスのこと…?

ええ

いきなりなにを  
言っているの?

同じドイツ出身ですし  
すごく仲も良さそう  
ですし…

でも…

うん

レーベの  
気持ち…  
聞ける…!!

つまりですね  
レーベは  
マックスさんのこと…

好き?

えっ

直球う!

ナイスアカギ!

あ…でも  
ここで  
好きじゃないとか  
言われたら…

いやでも…  
これはチャンス  
だし…  
でも…

うんっ

え

大好きだよ！  
マックスのこと！

一番大好き！

そうですか♪

うん！

ああレーベ…！

よかった…



やっぱりレーベは  
レーベのままだった…！

……だそうですよ

マックスさん♪

え

正規空母の私が  
気付いてないとも  
思ってたんですか♪

素敵ならお任せください

マックス!?

な…なんで…  
ここに…っ!?

えっ

あれ

赤城さん  
知ってて…

えっ

…って

み…わ  
見ないで!

マックス!

レーベ…

みちや…

見ちゃダメだよ!



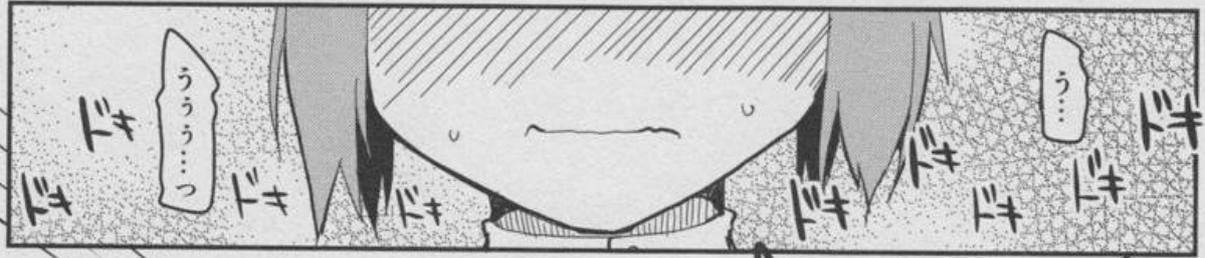
……で  
マックスさんは  
どうです？

こんなエッチな  
レーベのことは  
嫌いになっちゃいました？

アカギ……  
あなた最初から  
全部……

どうなんです？

……ッ



ドキ

う……

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

う……

ドキ

えっちでもなんでも……!!  
私はレーベが大好きよ!!



大好き!!



好き!



マックス……



隠してて  
ごめんねマックス：  
怖かったんだ：

こんなことしてるの  
知られたら：  
嫌われちゃうんじゃないかって：

まあまあよ

レーベ…



湿っぽいのは  
抜きにして

マックス：

レーベ…

レーベ…

マックス…

ふふっ  
これで一件落着  
ですね

あの…赤城…  
私はどうすれば…？

私がお相手しますよ







ああ…  
レーベとひとつに  
なってる…

ねえレーベ…?

私…もう  
イク…の…

あっ  
ボクも…  
だよ…っっ

ホント!?!  
うれしい…





ふふ  
イキ方も  
かわいいですねえ

イッてる  
イッてる

……イッた？

ああ……  
ふたりとも  
かわいいな……



うん……

うん  
ずっと一緒だよ……

もう  
離れないで……

私も……  
好きよ……  
レーベ……  
大好き

うん……私も……

マックス……好き……  
好き……  
好きだよ……

話し中のところ  
すまないマックス

またレーベを  
少し借りるぞ

**ズッ**

ど…どうしたの  
レーベ…?

って

ナ……ツ

**ナガトツ!?**

レーベから  
離れなさい!!

む…  
無理だ…  
すまない

びびる

びびる

レーベ…  
また…

レーベ…  
また…

この鎮守府の連中は  
レーベのことを  
なんだと思ってるの!

でも……

かおレーベのこの  
表情も…

……好き♥



……おい  
その  
ジャーマニーの  
ふたり

……で  
次の海域に  
向かってもらう  
艦隊の編成だが…



まあまあ提督  
この子たちも  
慣れない土地で  
疲れているでしょうし…

私が後で伝えて  
おきますから

むう…

そうか…

まったく…  
んじや話の続きだが—

### 従軍慰安艦赤城参

発行 :めたもる  
 発行日 :2014.12.30  
 発行者 :りょう  
 印刷 :PICO  
 連絡先 :ryo\_w@yakinegi.net  
 HPアドレス:http://yakinegi.net/

ゆき